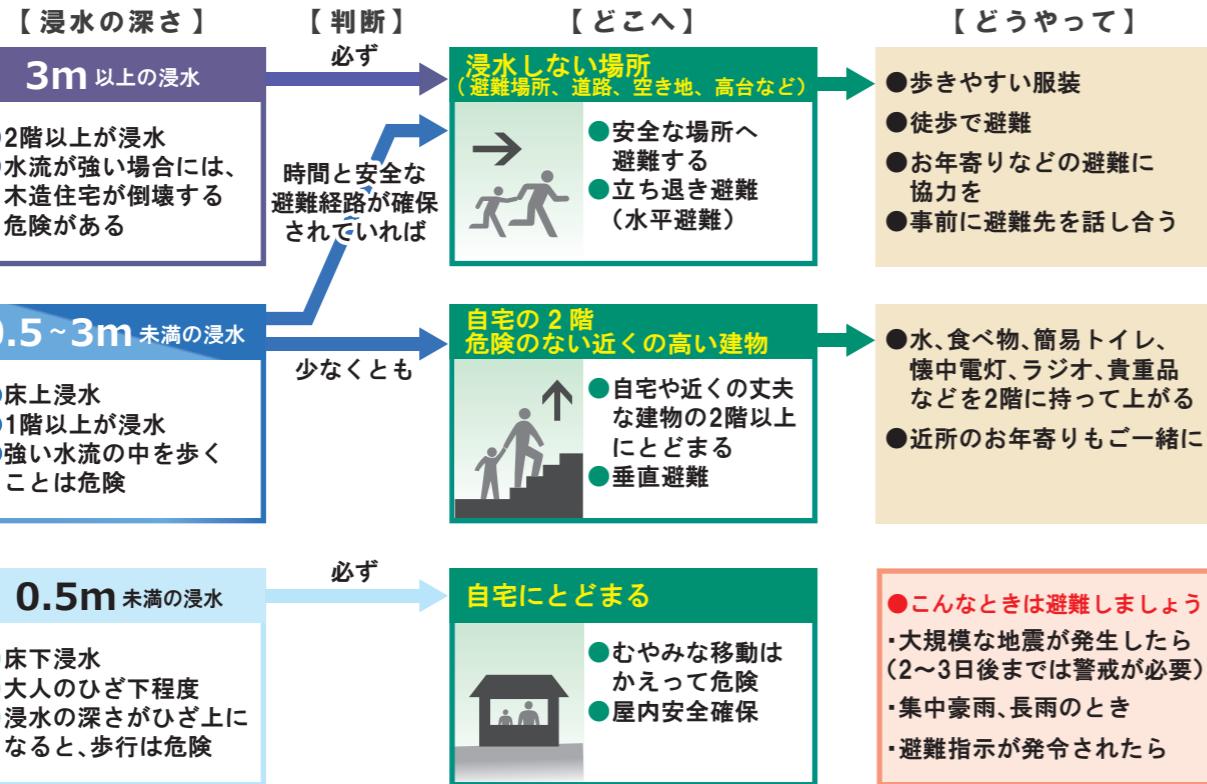


● 状況に応じた避難をしよう

» ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

【マップを確認】



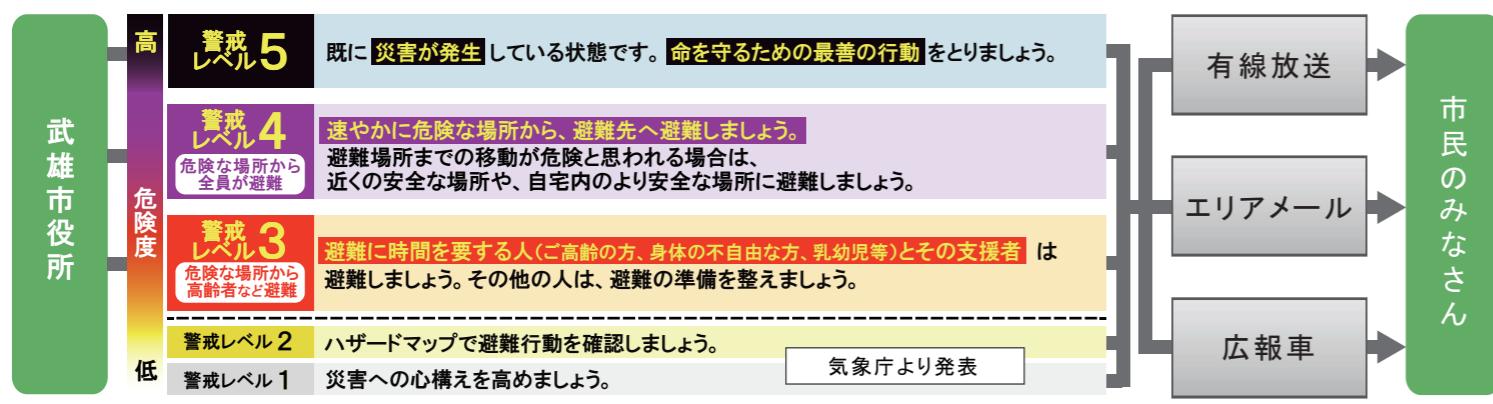
● 想定される
浸水の深さに
よって、避難
方法は異なり
ます。

● 裏面の地図
で、自分の家
で想定される
浸水の深さを
確認し、避難
の方法を考え
ましょう。

● 避難に備え早めの情報収集を行いましょう

情報源	情報の種類	ウェブサイトアドレス
たけおポータル	県内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.city.takeo.lg.jp/bosai/
防災・減災さが	県内の防災関連情報や関連サイトなど	https://www.pref.saga.lg.jp/bousai/
リアルタイム川の防災情報	全国の雨量情報や水防警報など	https://www.river.go.jp/
気象庁	全国の気象情報や地震情報など	https://www.jma.go.jp/jma/index.html

● 市役所から呼びかける避難情報



【ため池ハザードマップに関するご意見・ご質問は】
武雄市役所 TEL : 0954-23-9335 (農林課)

武雄市 ため池 ハザードマップ

にしつみ
西堤ため池

作成:令和4年3月
(2022年)

この「ため池ハザードマップ」は、地震などにより、西堤ため池が決壊した場合に想定される浸水区域や水深、および避難に役立つ情報をまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。

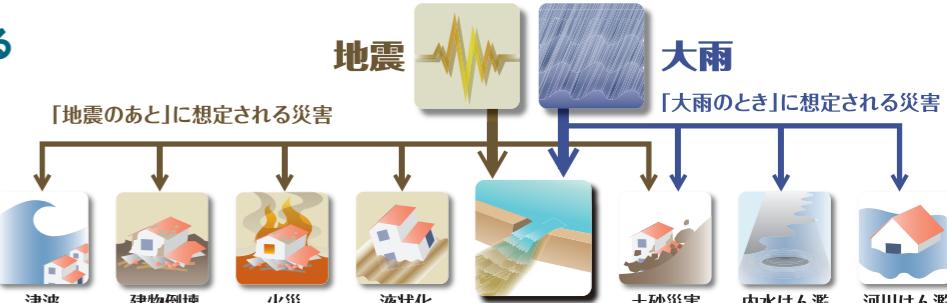
ため池災害は次の特徴があります。

- 地震時は決壊の予兆がわからない場合があります。
- 決壊すると大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。
- ため池の下流では大きな被害になることもあります。



① ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。
ため池決壊と同時に注意が必要です。



● ため池ハザードマップの活用方法 (急な事態へ備えましょう)

① 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

- ・危険度や水位の到達時間に応じた避難を考えましょう。
- ・災害時の様々な事態をイメージしましょう。

④ 日頃から家族や地域で話し合いましょう。

- ・災害時に協力し合えるよう、日頃から家族や地域で役割などを話し合いましょう。
- ・避難の際に支援が必要な要配慮者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。



② 避難場所を決めておきましょう。

- ・危険度や水位の到達時間より、どこへ避難するかを決めておきましょう。
- ・浸水深が3mを超える区域は、緊急避難できる身近な場所も探しておきましょう。
- ・家族の連絡先を確認しておきましょう。



⑤ 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

- ・ため池の堤防が被災すると、短時間で決壊に至る可能性がありますので、日頃から防災情報がどこで入手できるかを確認しておきましょう。



③ 避難場所までの避難経路を考えましょう。

- ・避難場所まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。
- ・避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所を探しておきましょう。



⑥ 市が公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ・武雄市ハザードマップには、大雨に伴う河川のはん濫や、その避難に関する情報を記載しています。このマップと併せて活用し、急な事態へ備えましょう。



〒843-8639 佐賀県武雄市武雄町大字昭和 12 番地 10
ホームページ <https://www.city.takeo.lg.jp/>

武雄市ため池ハザードマップ（西堤ため池）

